

## 第2章 グリーン経営の進め方

グリーン経営を進めるためには、「自社の環境保全活動の取組状況の把握」→「評価結果に基づく改善策の検討」→「行動計画の作成」→「計画に基づく取組の推進」→「取組状況の把握と見直し」というサイクルによって、様々な環境保全活動の継続的な向上を目指すことが必要です。

このマニュアルでは、中小規模の倉庫事業者及び港湾運送事業者の実態に合い、かつ、容易に環境保全活動が行えるよう、環境保全への具体的な取組を「グリーン経営推進チェックリスト」（以下、チェックリスト）で把握・評価し、それをもとにグリーン経営を進めることができるような仕組みを示しています。

チェックリストには、倉庫事業者及び港湾運送事業者が目指すべき環境保全活動への具体的な取組が示されています。これをもとに自社の環境保全活動への取組状況をチェックすることによって、まず、現状での取組内容の整理と取組レベルの把握が可能になります。また、自社の取組以外にどのような取組があるのか、より高いレベルの取組としてどのような取組があるのかを知ることができます。

このような自社の環境保全活動の取組状況の把握をもとに、次に示す「グリーン経営推進チェックリスト」を活用したグリーン経営の推進フローに沿って、取組の改善策の検討、行動計画の作成・見直し、計画に基づく取組の推進、取組状況の把握と見直しを進めることとなります。

## グリーン経営推進チェックリストを活用したグリーン経営の推進フロー

## 1. 自社の環境保全活動の取組状況の把握(チェックリストの利用)

- ・ グリーン経営推進チェックリストは、事業者として目指すべき取組を示すものです。これを利用して、自社の環境保全活動への取組状況（どこまでできて、どこからできていないなど）を把握します。
- ・ チェックリストの概要と使い方については、第3章に説明があります。

## 2. 取組の改善策の検討

- ・ チェック結果に基づいて取組状況を評価（取組の過不足や成果、取組レベルのアップなど）します。
- ・ 評価結果に基づき、環境保全活動の効果が上がるよう、取組内容を見直します。
- ・ 新たに取組を始める場合には、目標（取組項目と達成レベル）を設定します。
- ・ すでに、取組を進めてきた企業で目標を達成できなかった場合は、その原因がどこにあるのかをさまざまな角度から分析し、改善策の検討を行います。
- ・ また、目標を達成できた場合は、より高い目標の設定が可能かどうかを検討します。

## 3. 行動計画の作成・見直し

- ・ 現状の環境保全活動への取組状況の評価結果や、検討した取組の改善策を踏まえ、今後の目標や目標達成へ向けた具体的な取組内容などを盛り込んだ行動計画を作成（見直し）します。
- ・ 行動計画には以下の項目を盛り込みます。
  - 環境保全活動への取組についての現状把握とその課題  
チェックリストに基づき取組状況と現状での課題をまとめます。
  - 目標の設定  
チェックリストの結果をもとに目標を設定します（目標例：電気・燃料使用原単位、省エネ設備機器の導入、廃棄物の排出抑制などに関して）。
  - 目標達成へ向けた具体的な取組内容  
チェックリストの項目で今後重点的に取り組んでいこうと考える事項について、掲げた目標を達成するための具体的な取組内容とそのスケジュールをまとめます。環境教育や関連情報提供を盛り込むことが欠かせません。

## 4. 計画に基づく取組の推進

- ・ 計画を策定したら、経営責任者以下、全社挙げて実行に移すことが重要です。
- ・ 環境担当責任者は責任をもって具体的な取組を進めるとともに、取組の状況は定期的に記録し、チェックリストによる自社の環境保全活動への取組状況の把握に役立てます。
- ・ 取組を進めていくには、しっかりとした環境保全の仕組みや体制の整備が必要です。執行体制の整備については、チェックリストの中にも評価項目として取り上げています。